

2017年1月24日
日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

ビル用マルチエアコン「冷暖切換型フレックスマルチ高効率タイプ」ならびに ルームエアコン「ステンレス・クリーン 白くまくん」X シリーズが 平成 28 年度「省エネ大賞」受賞



「冷暖切換型フレックスマルチ高効率タイプ」
(定格冷房能力 14.0～150.0kW : 計 26 機種)



「ステンレス・クリーン 白くまくん」
X シリーズ(計 33 機種)

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社(CEO：フランツ・サーウィンカ)は、このたび一般財団法人 省エネルギーセンターが主催する「平成 28 年度省エネ大賞」の製品・ビジネスモデル部門において、ビル用マルチエアコン「冷暖切換型フレックスマルチ高効率タイプ」(RAS-AP280SG など計 26 機種⁽¹⁾)ならびにルームエアコン「ステンレス・クリーン 白くまくん」X シリーズ(RAS-X40G2 など計 33 機種⁽²⁾)が「省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。

「省エネ大賞」は、国内において省エネルギーを推進している事業者および省エネルギー性に優れた製品を開発した事業者の活動を広く共有するとともに、優れた取り組みを行っている事業者を表彰するものです。省エネルギー意識の浸透と省エネルギー製品の普及活動などに寄与することを目的としています。

ビル用マルチエアコンは、主要構成部品の改良による高い省エネ性能と、低負荷運転時に圧縮機が ON・OFF する際に発生するエネルギーロスを抑制する「スムーズドライブ制御」の採用によって実運転時の消費電力低減を可能とするとともに、製品のコンパクト化を図ったことが評価されました。

ルームエアコンは、コンパクト室内機（横幅 800mm 以下）を採用しながら、高い省エネルギー性の向上を実現する一方で、人識別画像処理技術を採用した「くらしカメラ AI（エーアイ）」で省エネと快適の両立を実現できることが評価されました。

当社は、今後もグローバルに省エネルギー製品の開発に積極的に取り組み、家庭用から業務用まで、高性能で信頼性の高い空調機器を提供し、地球環境保全に貢献していきます。

なお、今回受賞した製品は、2月15日(水)～17日(金)に東京ビックサイト(東京都江東区)で開催される「ENEX2017」のアワードコーナーにてパネル展示される予定です。また、表彰式は、2月15日(水)に東京ビックサイトにて行われる予定です。

■受賞製品の特長

1. ビル用マルチエアコン「冷暖切換型フレックスマルチ高効率タイプ」

主要構成部品である熱交換器・送風系、圧縮機などに省エネ性を高めるための各種新技術を採用し、低負荷運転時の運転効率を大幅に向上しました。その結果、省エネ性能は業界トップ^(*)3)のAPF2015^(*)4)を達成しました(14.0~50.0kW 製品)。さらに、低負荷運転時に圧縮機がON・OFFする際に発生するエネルギーロスを抑制する「スムーズドライブ制御」を採用し、実運転時の消費電力低減を可能としました。また、従来の高効率タイプよりも単体ユニットあたりの容量を大きくし、室外ユニットの組合わせユニット数を減らしました^(*)5)。これにより、製品のコンパクト化を実現し、40.0~50.0kW 製品および73.0~100.0kW 製品ではユニット接続時の工事工数が低減でき、40.0kW 製品では設置スペースを約44%低減しました。

2. ルームエアコン「ステンレス・クリーン 白くまくん」Xシリーズ

買い替え需要に対応したコンパクト室内機(横幅800mm以下)を採用し、エアコンの構成部品の中で、最も消費電力の割合が高い圧縮機を中心に性能向上を図り、冷房能力が4.0kWの機種(RAS-X40G2)では、**通年エネルギー消費効率(APF)7.6^(*)6)**と高い省エネ性を実現しました。また、業界で初めて^(*)7)、在室者を識別するとともに、在室時間による体感温度の変化を予測する「**くらしカメラAI(エーアイ)**」を搭載し、一人ひとりを見守りながら、快適な空調と省エネ運転^(*)8)を実現します。さらに、寒くならず^(*)9)に除湿する「カラッと除湿」に「湿度カメラ」機能を採用することで、部屋の湿度分布を算出して、湿度の高いエリアを優先して除湿し人も部屋も快適にします。

(*)1)受賞製品は単体の室外ユニットを最大3台まで組合わせることにより150.0kW製品(全26機種)まで実現するモジュールタイプのビル用マルチエアコン。

(*)2)受賞製品の詳細は、ルームエアコンホームページ(<http://kadenfan.hitachi.co.jp/ra/>)参照。

(*)3)2017年1月16日現在。ビル用マルチエアコンにおける「てんかせ4方向」と組合わせた場合のAPF2015(通年エネルギー消費効率)による比較において。

(*)4)JIS B 8616:2015に基づく通年エネルギー消費効率。数値が大きいほど省エネ性能が高いことを示す。

(*)5)40.0~50.0kW製品は2台の組合わせユニットから単体ユニットに、73.0~100.0kW製品は3台から2台の組合わせユニットに変更。

(*)6)JIS C 9612:2013に基づく通年エネルギー消費効率。

(*)7)当社調べ。2016年10月31日発売。国内家庭用エアコンにおいて、人を識別し入室時間を特定する技術。

(*)8)当社環境試験室で測定。RAS-X40G2。洋室14畳、在室人数は2人。外気温2℃、設定温度25℃で運転。6時間運転した時の1時間あたりの積算消費電力が[ひと識別]ON時(523kWh)とOFF時(552kWh)との比較において。

(*)9)一般社団法人 日本冷凍空調工業会による室温が下がらない再熱方式。条件:一般社団法人 日本冷凍空調工業会基準。RAS-X40G2において。室外温度24℃・湿度80%、室内温度24℃・湿度60%の恒温室で連続運転。設定風速急速パワフル、設定湿度40%。消費電力775W、除湿量1,420ml/h、吹き出し温度24℃。

■お客様からの問い合わせ先

日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号(ニューピア竹芝サウスタワー)

<ビル用マルチエアコン>

業務用空調事業部 グローバル商品マネジメント本部 商品企画部

電話 050-3154-3951

<ルームエアコン>

家庭用空調事業部 グローバル商品マネジメント本部 商品企画部

電話 0120-3121-11(フリーコール。携帯電話、PHSからも利用可能)

※上記電話番号は日立コンシューマーマーケティング株式会社 お客様相談センター(販売会社)

受付時間:9時~17時30分(月曜日~土曜日)、9時~17時(日曜日・祝日)

【年末年始などを除く】

■ビル用マルチエアコン(業務用空調 & 冷却設備)ホームページ
<http://www.jci-hitachi.com/jp/products/commercial-air-conditioning>

■ルームエアコンホームページ
<http://kadenfan.hitachi.co.jp/ra/>

■報道関係問い合わせ先
日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社 コミュニケーション本部 [担当：内山]
〒105-0022 東京都港区海岸一丁目 16 番 1 号(ニューピア竹芝サウスタワー)
電話 050-3176-4143(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。)
